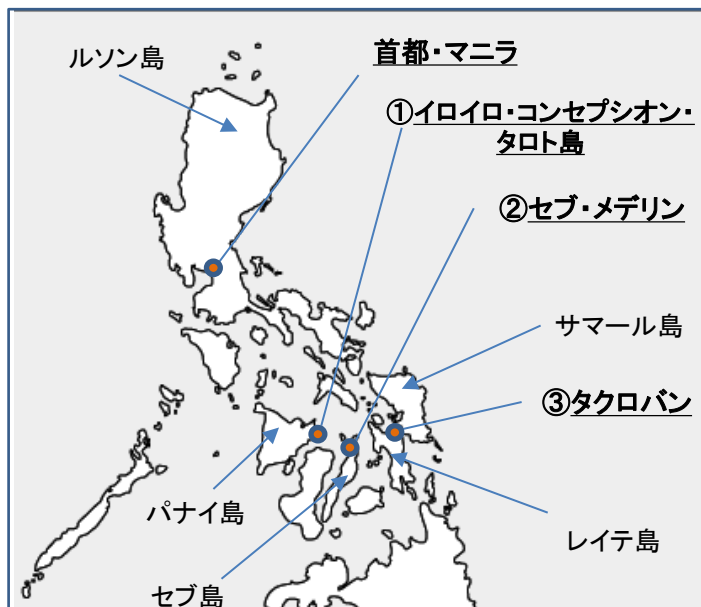


# フィリピン台風 被災地福祉支援 ニュース No.4

社会福祉法人  
全国社会福祉協議会(国際部)  
〒100-8980  
東京都千代田区霞が関3-3-2  
新霞が関ビル  
TEL: 03-3592-1390  
FAX: 03-3581-7854

2015年4月15日

## 助成先団体からの被災地活動報告



平成26年度にフィリピン台風福祉支援事業として助成を行ったフィリピンの民間団体のうち、愛徳姉妹会、サレジオ会、セントロ・エスコラル大学における現在の活動状況についてご報告します。

<各団体の活動地>

- ①イロイロ・コンセプション・タロト島  
愛徳姉妹会の被災地活動地
- ②セブ・メデリン  
サレジオ会の被災地活動地
- ③タクロバン  
セントロ・エスコラル大学が支援する  
レイテ・ノーマル大学の所在地

### ①愛徳姉妹会 (アジア研修30期生・チャリスマさん所属)

タロト島で建設が進められていたセンター(避難所や生活支援等を行う建物)が完成し、2月1日に落成式が行われました。

太陽光発電施設や水道施設などを付設した頑強な避難所が完成したことを祝い、多くの島民の皆さんが落成式に参加し、喜びを分かち合いました。

また、センターは、食品の製造・加工など島民の就労支援の場などとしても活用されています。現在、パンの製造に関する就労訓練が行われており、落成式の際には、早速、製造されたパンが島民の皆さんにふるまわれました。



<挨拶をする責任者のシスター・コリーとセンターで就労する人たち>

## ②サレジオ会（アジア研修17期生・カッチさん他の紹介）

小学校の敷地内で進められていたセンターが完成し、2月12日に落成式が行われました。落成式には、地元住民の皆さんが参加して、避難施設の完成を祝いました。

センターには、雨具や非常食、防災備品が備えられ、落成式のあと、子どもたちに雨具が貸し出されました。地元のセブ・ノーマル大学では、住民や子どもたちへの防災時教育に取り組んでおり、今後はサレジオ会と協力しながら、センターを活用した教育活動を進めていく予定です。

また、被災地では、多くの方が職を失いましたが、センターにおける生活支援の活動として、女性を対象に、ミシンを使った就労支援が検討されており、サレジオ会とセブ・ノーマル大学が実施に向けて協議を重ねています。今後は地域の生活支援の拠点として、センターが活用されていく予定です。



<サレジオ会が建設したセンターの外観>



<雨具を貸与された子どもたち>

## ③セントロ・エスコラル大学（アジア研修13期生・イメルダさん所属）

奨学金を受け就学を継続してきたレイテ・ノーマル大学の23人の学生たちが、3月24日に卒業式を迎えました。卒業式では、学生たちが、助成をくださった日本の福祉関係者の皆さまに、あらためて感謝の意を表していました。就学生のなかには、優秀な成績を修め、大学から表彰された学生もいました。

タクロバンでの学生生活を無事に終えた学生たちは、これから誇りと自信を胸に、レイテ島やサマール島でのソーシャルワークの仕事をとおして、地元の復興支援に携わる予定です。



<レイテ・ノーマル大学を卒業した奨学生たち>

# 平成26年度の被災地活動団体への助成状況

フィリピン台風福祉支援事業として、平成26年度に実施した現地の被災地支援団体への助成は下表のとおりです。平成27年度においても、継続助成として、他団体も含めた助成の実施・拡充をしております。

助成先	助成内容	助成金額(ペソ)	助成金額 (円送金額※)
セントロ・エスコラル大学	被災地大学で社会福祉を学ぶ学生を対象とした奨学金支給	1,188,000.00ペソ	2,815,301円
愛徳姉妹会	地域生活支援プロジェクトのベースとなる多目的施設の建設費	3,699,999.65ペソ	9,554,995円
サレジオ会	災害準備教育センターの建設費	4,298,714.86ペソ	11,072,863円
RGS	多目的センターの建設、女性・児童へのアドボカシー	3,824,398.32ペソ	10,746,559円
ACCAP	里親を育成・支援する専門職の研修	388,000.00ペソ	1,090,280円
聖ヴィンセント・フェレル 教区教会	就労支援のための生活センターの建設	1,764,764.00ペソ	5,011,929円
合 計		15,163,876.83ペソ	40,291,927円

※ 助成金(ペソにて送金)は複数回にわたって送金しており、円送金額については、助成金(ペソ)送金時の為替レートによって変動がある。

※ 助成決定をしているカンルンガン・サ・エルマ・ミニストリー(KSEM)については、助成金送金に向けた事業経費の確認等を行っており、平成27年度に助成金送金を予定している。

## チャイルド・ファンド・ジャパンに助成

上記のフィリピン民間団体への助成とは別に、被災地で継続的な支援活動に取り組む特定非営利活動法人チャイルド・ファンド・ジャパンに、500万円を助成しました。

チャイルド・ファンド・ジャパンが活動する被災地では、昨年12月に襲来した台風によって、復興途上にあった農地や住宅などに多大な被害が生じており、緊急支援を要する地域を中心に活動を続けています。今回の助成は、緊急支援物資の提供や生業である農業に関連した生計支援、子どもの心のケアに関する活動などに活用されます。

なお、チャイルド・ファンド・ジャパンは、フィリピンやネパール、スリランカの児童支援に取り組んでいる日本の民間福祉団体です。前身である社会福祉法人 基督教児童福祉会 国際精神里親運動部(CCWA)は、全国社会福祉協議会(全社協)がすすめる「アジア社会福祉従事者研修」のフィリピン推薦人を務めていただいていた。また、今回の支援事業にあたっては、現地の被災状況や支援活動に関する情報提供等をいただくなど、同団体は長年にわたって全社協の国際事業と協力関係にあります。

